

PICK



UP!



Not yet

2010年AKB48選抜総選挙で1位を獲得し、同年のAKB48プレミアクの立役者となった“変幻自在のエンターテイナー”『大島優子』をはじめ、2010年のAKB48海外公演にも多数出演、正統派美少女“夢見る名古屋嬢”『北原里英』、ブログでセンスの良さを評価され、次世代AKB48のエースかも?と期待されるAKB48のバラエティ担当『指原莉乃』、京都のはんなりさんであり、その努力家ぶりはメンバーのお墨付き、急遽大抜擢された『横山由依』の4人が織り成すAKB48の超最強ユニットともいえる。

NEW RELEASE

Not yet 待望の4thシングル『西瓜BABY』リリース!!



パッケージはDVD付き3種類とCDのみの計4仕様が登場。それぞれに別のカップリング曲が収められ、各タイプの初回プレス分にはコネクティングカード(イベント参加応募券や、特典コンテンツ〈試聴券〉)が封入されます。



Faith

Faith, Inc. Annual Report

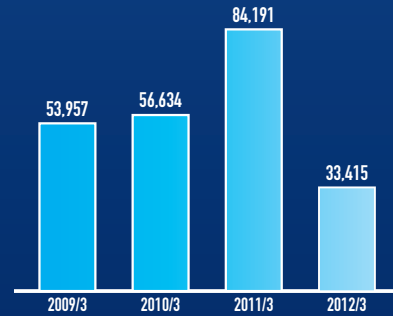
2011.4.1 - 2012.3.31

株式会社フェイス
第20期営業のご報告

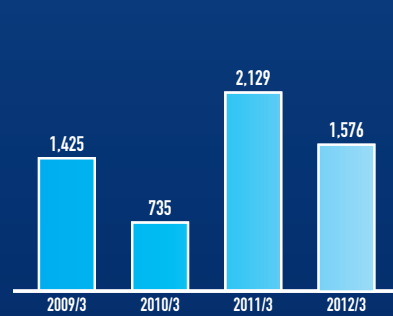
FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績ハイライト

株式会社ウェブマネーの全株式を売却し、売却益を様々な施策等に戦略的に活用「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に経営資源を集中

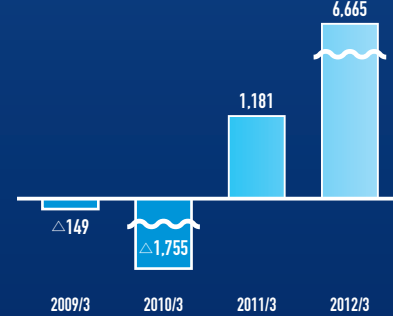
連結売上高 >>> (単位:百万円)



連結営業利益 >>> (単位:百万円)



連結当期純利益 >>> (単位:百万円)



事業別の概況

コンテンツ事業の状況

売上高 6,372百万円(前期比:13.8%減)
営業利益 990百万円(前期比:53.0%増)

電子マネー事業の状況※

売上高 25,717百万円(前期比:65.8%減)
営業利益 430百万円(前期比:66.8%減)

※電子マネー事業を行う株式会社ウェブマネーについて、同社株式を平成23年7月に売却し、第2四半期連結会計期間から連結除外しているため、同事業の業績は第1四半期連結累計期間の金額と同額となっております。

STRATEGY FOR MANAGEMENT 経営戦略 Q&A 当社グループの現在と今後の展開

市場展望と当期の取り組み

既存課金モデルとは異なる新しいビジネスモデルの確立に向け、さまざまな仕掛けを準備。

依然、コンテンツの無料配信モデルが賑わいを見せる中、従来型の課金モデルの収益低下は続き、当社グループでも着信メロディなどの事業でその影響を受けています。こうした現象は、スマートフォンや各種デバイスの普及拡大にともない、求められるビジネスモデルが変化してきたことによるものであり、食い止めることはできません。

そこで必要になってくるのが、新しいコンテンツ流通を可能にするプラットフォームの提供を通じた、新たなビジネスモデルの早期確立です。

確かに、無料配信モデルは、気軽に多くのコンテンツにアクセスできる道を拓いてくれるため、サービス登場とともに一気に利用者が拡大し、時代を席捲する時期があります。この期間は、玉石混淆のコンテンツの中から気に入ったものを見つけ出す楽しさも価値の一つであり、それだけでユーザーの期待を満たすことができます。

しかし、そのまま無料配信の時代が続くかといえば、そうではありません。次第に探す時間が手間になると感じ始めるからです。コンテンツを探す楽しさから、エンターテインメントとしてクオリティの高いコンテンツを楽しみたいという方向へとユーザーの欲求が移行し、期待の方向性が変わってきます。1990年代のパソコン通信の普及・拡大時に迎ったコンテンツ提供サービスの軌跡を見ても、その流れは実証済みです。無料で利用できる

新しい
ビジネスモデルの
確立に向け、大きく
舵を切る1年に。

平澤 創

情報が増え、氾濫してくると、情報の真偽、クオリティの高さを求めるようになる。さらに言えば、クオリティを担保した商品を提供してくれるマーケットや信頼のおけるブランドを求めるようになる、これは、至極自然な流れです。

当社グループでは、こうした流れに備え、また、こうした流れを引き起こす先陣を切るため、クオリティを担保したコンテンツを流

通させるための新たなプラットフォームを開発し、ブランド力をもって提供を強化していくという基本戦略のもと、さまざまな取り組みを進めてきました。

2012年3月期は、再びコンテンツ流通が有料化へシフトする次なる時代に向け、その道筋を作る準備を着実に進めることができた1年になったと認識しています。

新プラットフォームについて

エンターテインメントのクオリティを担保するプラットフォームの提供とブランディングを推進。

すでに海外では、数々のソーシャルミュージックアプリが提供され、Facebookを活用した音楽プロモーションが新たな潮流になりつつあります。この流れを日本国内にも起こすべく、4月11日付で日本初のソーシャルミュージックアプリ「viBirth App」のサービス開始を発表しました。これは、アーティスト、音楽プロダクション、音楽レーベルが、楽曲配信や宣伝するために必要な機能をフルに提供するアプリであり、ソーシャルネットワー

クというメディアを最大限に活用したプロモーション活動を強力にサポートする、新たなプラットフォームです。

アーティストのFacebookページに「viBirth App」をインストールするだけで、著作権を管理しながら、楽曲再生、購入、YouTube映像、スケジュール、写真、Twitter、「いいね!」を押したファンのタイムライン上での楽曲再生、ライブチケットやアーティストグッズの販売といった機能を利用することができます。オプション有料サービスを利用すれば、よりアーティストのブランディングに沿ったページを構築することも可能です。

もうひとつ、2011年8月に当社、米国Catch Media, Inc.等が合併会社として設立したキャッチメディアジャパン(株)による、日本国内向けに独占提供するクラウド型コンテンツ配信システム「Play Anywhere™」が動き始めています。4月2日には、(株)トイズファクトリーが同システムを世界に向けた音楽配信プラットフォームに採用し、「livetune feat.初音ミク」「Tell



Your World EP]を世界134カ国のGoogle Playにて配信を開始しました。「初音ミク」は、大人気を誇るボーカル音源キャラクター*で、様々な人が様々な創作レベルで楽曲を発表し、コンテンツが氾濫する中、iTunes総合ランキング1位を獲得した曲を含む高品質の優良コンテンツを提供した先例として、非常に価値あるリリースになったと評価しています。

世界には、すでに新しい着眼点をもったプラットフォームが出てきています。当社では、今後、独自の仕組みも展開していく計画ですが、世界のユーザーにすでに認知されているような優れた仕組みも、積極的に活用しながら、新たなビジネスモデルの早期確立につなげていきたいと考えています。

中長期的な成長戦略について

ユーザーリーチの拡大と海外マーケットへのアプローチが中期的な重点テーマ。

新しいビジネスモデルへのシフトを図るにあたり、今後2~3年は、直接ユーザーとつながっていく仕掛けをさらに促進させる必要があると考えています。趣味嗜好が細分化・多様化している中でそうした情報をうまく吸収していくためには、ユーザーリーチの拡大が重要になってくるからです。

新しいビジネスを始める際、通常はユーザー数ゼロからスタートすることになりますが、当社グループは既存サービスをベースに、すでに直接リーチできる会員がグループ全体で1,000万ユーザー近く存在しており、新しいビジネスモデルへのシフトに際し、この点は非常に大きなアドバンテージを発揮してくれることになるかと認識しています。当社が進めている戦略に類似したサービス提供を指向する企業が出てきたとしても、事業化・収益化

におけるスピードで圧倒的優位性を発揮することになるでしょう。

もうひとつ、伸長している海外マーケットをフィールドとした新たな仕掛けの準備を進めています。当社グループでは、プラットフォームの提供を通じ、世界中で高い評価を得て注目されているポップカルチャーを始めとする日本文化を世界に紹介することで、「文化輸出」を果たしていきたいと考えています。

株主の皆様へ

真に求められているコンテンツを求めている人の元へ届けるために。

これまで、アーティストの発掘は送り手側が担ってきましたが、今後は目利き・発掘の作業をユーザーが行うようにシフトしてくと見えています。新しいインターネットサービスが次々に登場し、ミュージシャンやクリエイターたちが直接ユーザーにリーチできる環境が整ってきたことにもない、従来型のお仕着せの売れる仕組みは機能しなくなる一方で、ソーシャルメディアを媒介し、「つぶやき」や「いいね!」を通じて、クチコミ式でヒット作品や人気アーティストが生まれるようなボトムアップ式でエンターテインメントが育成される土壌が育ってきているからです。世界的な人気を誇る「初音ミク」という存在は、まさにその典型といえるでしょう。当社グループでは、アーティストが権利を守りながら世

界に向けて作品を配信でき、ユーザーも簡単にクオリティの高い作品につながることでできるプラットフォームの提供を通じて、文化としてのエンターテインメントを大いに盛り上げていきたいと考えています。

音楽を楽しむ上で、時流に沿ったマーケットでコンテンツを提供するという観点は非常に重要な課題です。時流を見極めながら、新しいビジネスモデルへ大きく舵を切り、本格的な事業拡大を指向する中では、ある程度の先行投資も必要になります。短期的には厳しい状況が続きますが、株主の皆様におかれましては、当社グループのビジョンとエンターテインメントにかける熱き想いを共有いただき、今後ともご支援いただけますようお願いいたします。



Faith, Inc. NEWS DIGEST

簡単にビデオレターを作成
ピクミックスレター
「キティちゃんのお祝いビデオレター」
第2弾のサービス開始



©1978, 2001, 2012 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN ©

キャラクターとユーザー自身の写真や動画を合成することで、オリジナルビデオレターが作成できる「ピクミックスレター」の「キティちゃんのお祝いビデオレター」の第2弾は、オリジナルパースデーソングをキティちゃんが歌い踊って披露し、誕生日をお祝いしてくれます。

Facebook アプリ「viBirth App」サービスを開始
～日本初のソーシャルミュージックアプリを提供～

viBirth 当アプリは、世界的に音楽プロモーションのデファクトスタンダードとなっているFacebook上でのソーシャルPRを強力にサポートします。Facebookページ上でダイレクトに楽曲試聴が行えることや、その楽曲に「いいね!」を押したファンからその友達へと効果を拡散することができる点が大きな特徴です。アーティストはこれらの機能を無料で利用できます。ユニバーサルミュージックのGReeeeNをはじめ、国内超大型アーティストのページで既に利用が始まっており、今後も国内外様々なアーティストが採用予定です。将来的にライブチケットやアーティストグッズの販売機能を追加し、プロモーションから販売までをアーティスト自らが一元的に管理できるプラットフォームの構築を目指します。



クラウド型コンテンツ配信システム『Play Anywhere™』を用いた
“livetune feat.初音ミク”、「Tell Your World EP」の
世界向け音楽配信開始～Google Playにて世界134カ国対象～



キャッチメディアジャパン株式会社が日本国内向けに独占提供するクラウド型コンテンツ配信サービス『Play Anywhere™』が、株式会社トイズファクトリーの“livetune feat.初音ミク”「Tell Your World EP」の世界134カ国に向けた音楽配信システムとして、当社を通じて採用され、世界134カ国のGoogle Playにて配信を開始いたしました。「Tell Your World EP」の配信では、約1Mbyteの再生プレイヤーに対し、楽曲をクラウドサーバからDRM保護の上ストリーミング配信を行うことにより、3G環境においてもストレスなく楽曲の再生が可能になります。

©Crypton Future Media, Inc. www.crypton.net ©FANTASISTAUTAMARO ALL RIGHTS RESERVED ©2011 mebae / Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

オススメアプリSNS「aivie(アイビー)」開設

当社子会社の株式会社フェイス・ワンダワークスが運営する「aivie」は、スマートフォン初心者のための入門講座や注目アプリを評価するクロス・レビューといったコーナーのほか、アプリ開発者が開発したアプリを「aivie」内に載せることができるなど、アプリを通じて新たなコミュニケーションの場を生み出す、これまでにない画期的なアプリケーション紹介ポータルサービスとなっております。



「遊んで、学ぶ。」フィンランド式ドリルの
アプリを学研教育出版と共同で開発

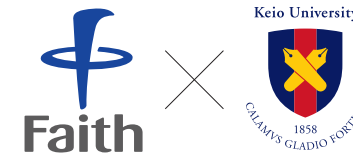
当アプリは、2008年に株式会社学研教育出版より出版された人気実践ドリル「フィンランド式ドリル リッカ先生のたのしい算数 たし算 ひき算」をAndroid版として共同開発したもので、OECD(経済協力開発機構)の国際学習到達度調査(PISA)で、毎回優秀な成績を誇るフィンランド首都ヘルシンキの小学校現役教諭 リッカ・パッカラ先生が教える方法が実践できます。



ソニー 液晶テレビ〈ブラビア〉で楽しむ
本格カラオケ! 「JOYSOUND.TV」サービス開始

ソニー株式会社の液晶テレビ〈ブラビア〉やブルーレイディスクプレイヤーなどでお楽しみいただける本格カラオケサービス「JOYSOUND.TV」を株式会社エクシングと共同開発し、2012年6月よりサービスを開始しました。

本サービスの開始により、「Sony Entertainment Network」対応のテレビ・ブルーレイディスクプレイヤーなどの対象機器をお持ちのお客様は、ご家庭にて迫力の大画面による高音質のカラオケを楽しめます。



慶應義塾大学
2011年度秋学期に、
フェイス寄附講座を開設

慶應義塾大学総合政策学部教授竹中平蔵氏が所長を務める慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所において、フェイス寄附講座「イノベーション&リーダーシップ」を開講しました。同寄附講座では、社会や組織の発展の原動力であるイノベーションとリーダーシップについて、大学教員の学術的視点、実業界における先駆者の実務的視点の複眼的視点から解説し、具体的な議論を展開することにより、受講生が、理論、実践の両面の知識を修得することを狙いとしています。

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当期 2012年3月31日現在	前期 2011年3月31日現在	科目	当期 2012年3月31日現在	前期 2011年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	15,335	21,373	流動負債	2,908	16,764
固定資産	8,182	11,352	固定負債	991	1,417
有形固定資産	3,007	2,893	負債合計	3,899	18,182
無形固定資産	422	806	純資産の部		
投資その他の資産	4,752	7,652	株主資本	19,381	12,831
資産合計	23,518	32,726	資本金	3,218	3,218
			資本剰余金	3,708	3,708
			利益剰余金	13,106	6,556
			自己株式	△ 651	△ 651
			その他の包括利益累計額	211	66
			少数株主持分	25	1,647
			純資産合計	19,618	14,544
			負債純資産合計	23,518	32,726

連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

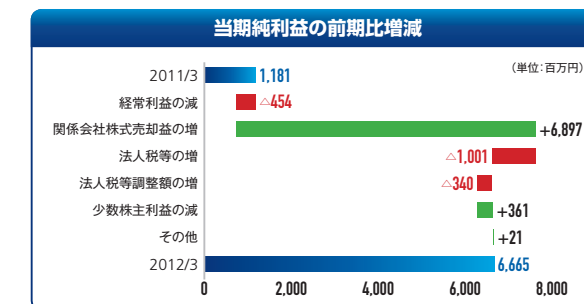
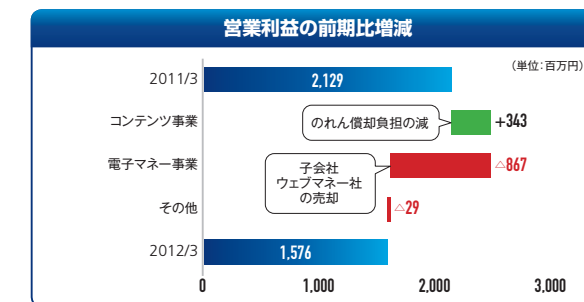
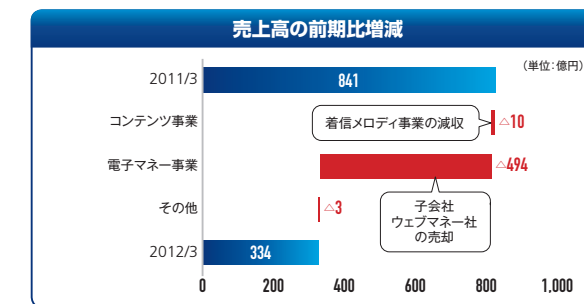
当 期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他 の包括利益 累計額合計		
2011年4月1日期首残高	3,218	3,708	6,556	△ 651	12,831	268	△ 201	66	1,647	14,544
当期変動額										
剰余金の配当			△ 114		△ 114					△ 114
当期純利益			6,665		6,665					6,665
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△ 40	186	145	△ 1,621	△ 1,476
当期変動額合計	—	—	6,550	—	6,550	△ 40	186	145	△ 1,621	5,074
2012年3月31日期末残高	3,218	3,708	13,106	△ 651	19,381	227	△ 15	211	25	19,618

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	前期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
売上高	33,415	84,191
売上原価	27,290	73,335
売上総利益	6,125	10,855
販売費及び一般管理費	4,549	8,726
営業利益	1,576	2,129
営業外収益	206	194
営業外費用	24	110
経常利益	1,758	2,213
特別利益	7,006	26
特別損失	155	94
税金等調整前当期純利益	8,609	2,145
法人税等	1,805	463
少数株主損益調整前当期純利益	6,803	1,681
少数株主利益	138	499
当期純利益	6,665	1,181

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	前期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,267	5,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,117	△ 459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 507	△ 2,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,359	1,980
現金及び現金同等物の期首残高	10,321	8,340
現金及び現金同等物の期末残高	8,961	10,321



COMPANY OVERVIEW / SHAREHOLDERS INFORMATION

会社概要 / 株式情報

株式会社フェイス (2012年3月31日現在)

事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証一部
従業員数	102名(連結161名)

取締役および監査役 (2012年6月28日現在)

代表取締役社長	平澤 創
取締役	佐伯 浩二
取締役	小清水 勝
取締役	佐伯 次郎(新任)
取締役(非常勤)	樋口 泰行
常勤監査役	清水 章
常勤監査役	土屋 文男
監査役	菅谷 貴子

※ 樋口 泰行氏は社外取締役であります。
※ 清水 章氏および菅谷 貴子氏は社外監査役であります。

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

島田 精一	前住宅金融支援機構 理事長 日本ユニシス株式会社 特別顧問 財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員 学校法人東京理科大学 特別顧問 学校法人根津育英会 評議員 武蔵学園後援会 副会長 財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 社団法人日伊協会 評議員 日本ヴェルティ協会 理事
南部 靖之	株式会社バノナグループ 代表取締役グループ代表
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士 内閣府 公益認定等委員会 委員 日本年金機構・文部科学省大臣官房総務課・ 日本郵政株式会社(ゆうちょ銀行・郵便局会社等) 各顧問弁護士 みずほグループ各社 顧問弁護士 国立大学法人千葉大学 理事・副理事長 在日ロイヤルダッチシエルグループ各社 監査役
村瀬 清司	元社会保険庁 長官 企業年金連合会 理事長 株式会社損害保険ジャパン 非常勤顧問

株式状況

発行可能株式総数	1,990,000 株
発行済株式総数	1,196,000 株
株主数	14,381 名

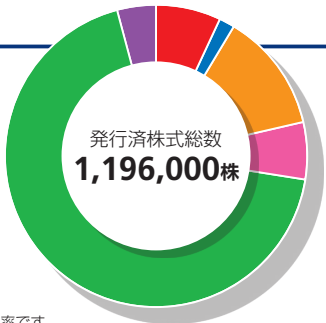
大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	472,053	41.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	48,877	4.25
ゴールドマンサックスインターナショナル	42,808	3.72
吉本興業株式会社	20,687	1.80
ドイチェンバンクアーゲー・ロンドンビービー ノントリティックライアンスツ613	18,584	1.61
田中 治雄	16,025	1.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,348	1.16
日本証券金融株式会社	11,026	0.96
株式会社レノ	10,000	0.87
大阪中小企業投資育成株式会社	9,800	0.85

※当社は自己株式(47,950株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は自己株式(47,950株)を控除して計算しています。
※持株比率は表示単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)

金融機関	7.08
証券会社	1.67
外国法人等	12.72
その他法人	6.11
個人・その他	68.41
自己名義株式	4.01



※発行済株式総数1,196,000株の構成比率です。
※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ

決算期 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)

同連絡先

公告方法 電子公告

<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様列にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)



Faith IR Mail

フェイスの最新情報をお届けします。

- IR 関連情報を E-mail で無料配信しております。
- プレスリリース等を発表とほぼ同時に、月に2～3回程度の頻度で送信申し上げます。

[ご登録はこちらから](#)

<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html>

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名等は、各社の商標または登録商標です。



株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下
虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル
URL <http://www.faith.co.jp/>
お問合わせ先
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833